

## 社会科 中学校第2学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	4章 <b>近世の日本</b> 第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	(4) ア	8	★基礎的・基本的な知識・理解の定着を図る。	小学校第6学年 ・全国統一への動き  (配慮事項) ○基本的な事柄や人物名を導入として、活かすことができると共に、知識を定着させる。	○時代背景や流れの中で、歴史的事象や人物の登場を「なぜか？」と考えていく姿勢を身に付ける。		
5	第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 第2節 江戸幕府の成立と鎖国 第3節 産業の発達と幕府政治の動き 中間テスト	(4) ア イ ウ	7 7 1	◎小学4年での寿庵関や奥州の村づくりの学習、小学6年での江戸幕府についての学習を生かし、新田開発など地域に残る江戸時代について調べる郷土への理解を深める。	小学校第6学年 ・幕府の政治と人々の成長	新田開発や鷹場など現在の地名に由来していることがらに触れる。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆次の人物について知っていることをあげてみよう。 ・織田信長 豊臣秀吉 ザビエル</p> </div> <p>知っている人物を位置的背景の中でとらえる学習</p>
6	第3節 産業の発達と幕府政治の動き (2) 日本のさまざまな地域 ア 日本の地域構成 イ 世界と比べた地域的特色 (ア) 自然環境 期末テスト	エ (2) ア	5 4 1					
7	(ア) 自然環境 (イ) 人口	(2) イ	1 1	◎さまざまな面からとらえた日本の学習をもとに、奥州市の地理的特色について考え、まとめ、話し合い、奥州市についての理解を深める。	小学校第5学年 ・農業のさかんな地域をたずねて ・これからの食料生産 ・自動車工場をたずねて ・世界とつながる自動車 ・工業の今と未来 ・自然を生かしたくらし	小学校での地域学習を生かしながら奥州市の地理的特色をとらえられるように配慮する。		
8	(ウ) 資源・エネルギーと産業	イ	1					
9	(ウ) 資源・エネルギーと産業 (エ) 地域間の結びつき ウ 日本の諸地域 ①九州地方	イ	1 1 5	★基礎的・基本的な知識の確認をし、定着を図る。	小学校第4学年 ・岩手の位置と奥州市の位置 小学校第5学年 ・都道府県の学習 小学校第6学年 ・我が国とつながりの強い国 (配慮事項) 断片的な地図学習を統合させ、活用能力として認知させること。	○周囲の国々やその関係は既習知識をまとめる。 ○岩手県における奥州市の位置はこれまでの復習として確認できる。 ○地図から総合的に地理的事象を読み取ったり、地図を通して追求しとらえる技能を身に付ける。	中学第2学年 ・様々な面からとらえた日本 ・様々な特色を関連づけて見た日本	
10	②中国・四国地方 ③近畿地方 ④中部地方 中間テスト	(2) ア	5 5 1 1					

11	④中部地方 ⑤関東地方 ⑥東北地方	(2) ア	4 5 3					
12	⑥東北地方 ⑦北海道地方 期末テスト	(2) ア	2 5 1					
1	5章 開国と近代日本の歩み 第1節 欧米の進出と日本の開国	(5) ア	9		小学校第6学年 ・新しい時代のまくあけ	小学校の既習事項をふまえて、歴史の流れを的確にとらえられるように努める。	中学校第3学年 ・基本的人権の尊重  中学校第3学年 ・大日本帝国憲法の制定	
2	第1節 欧米の進出と日本の開国 第2節 明治維新 期末テスト 身近な地域の調査	(5) イ (2) イ	3 9 1 2		小学校第6学年 ・新しい時代のまくあけ	小学校の既習事項をふまえて、歴史の流れを的確にとらえられるように努める。	中学校第3学年 ・大日本帝国憲法の制定  中学第2学年 ・様々な面からとらえた日本 ・様々な特色を関連づけて見た日本	奥州の人口 奥州の農業 奥州の商工業 奥州の交通 ■日本と奥州をさまざまな面から比較し、奥州の特色をとらえる学習 「私たちの奥州」の活用
3	身近な地域の調査 まとめ・評価	(2) イ	5 (+1)	◎地域について、実地調査を通して知ることにより、地域社会の一員としての自覚を高め、地域への愛情を育てる。 ◎読図指導では、奥州市の25000分の1の地形図と50000分の1の地形図を活用する。	小学校第3学年 ・奥州市の特色 ・地域の人々 小学校第4学年 ・身近な場所の見学 ・奥州市の特色 小学校第5学年 ・農業・奥州市の野菜作り ・工業 ・国内の特色ある地域の人々の生活  (配慮事項) これまでの体験を個人での課題設定と調査活動に活かせること。	○個人の課題設定や調査場所の選択では、小学校での調査体験を発表させ、さまざまな視点があることを想起させる。 ○これまでの聞き取り調査や調べ学習の手法を基に、個人での取り組みへの意欲と自信を高めることができる ○小学校での施設見学・校外学習での体験を活かし、深めるようアドバイスする。 ○野外観察では地図を頼りにして訪ね歩く技能を身に付ける。	中学第2学年 ・様々な面からとらえた日本 ・様々な特色を関連づけて見た日本	◆学校の周りをフィールドワークし、地形図とで確認しよう 地形図をもとに、学校周辺の土地利用、施設の確認をする学習。
時数			地 53 歴 48 テスト 4 合計 105					